



校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ③⑩

令和3年1月15日（金）

「1・13緊急事態宣言」

前回の「校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ」で、梅野さん（高校3-2）が、元旦に開催された「第69回元旦競歩大会」（神宮外苑絵画館20km競歩路コース）5km競歩で、3年ぶりの記録更新となる大会新記録での見事な優勝の紹介をしましたが、今回もまた嬉しいニュースを2つも！紹介できることになりました。

まず1つ目は、電気物理部の活躍です。第35回福岡県高等学校総合文化祭において、自然科学部門ポスター発表の部で「ラトルバックに関する研究」で、**高校1年7組の中元君、1年2組の藤田君、1年3組の下平君が優良賞を受賞**しました。

また、ロボカップジュニア2021九州ブロック大会において、ワールドリーグ・サッカーオープンで「宗高ヘラクレス」の**1年2組藤田君、1年3組福田君、1年7組中元君、藤本君が見事優勝**を飾ってくれました。ロボカップジュニアにおける最高レベルであるワールドリーグ・サッカーオープンでの優勝は、実に素晴らしく、本校として実に誇らしい成果であります。

同じくサッカーライトウェイトでは「宗中グラジオラス」の**中学2-Aの藤原君、2-Bの片村君が第2位、「宗中キンレンカ」の中学2-Aの末松さん、吉開君が第3位に入賞**を果たしてくれました。

「宗中ヘラクレス」の4名は3月に愛知県で予定されている全国大会に出場することが決まっています。全国の舞台での活躍を大いに期待しています。

2つ目は、中学3年生の全国レベルでの受賞です。第24回「図書館を使った調べる学習コンクール」（主催：公益財団法人 図書館振興財団）において**中学3-Bの今井さんの作品が昨年に引き続き2年連続で優秀賞・読売新聞社賞を受賞**しました。日頃から社会的関心も高く、豊富な読書量を誇る今井さんですから、この受賞は当然と言えば当然と言えるのかもしれませんが、この**優秀賞・読売新聞社賞を昨年に引き続き2年連続で中学生で唯一人受賞**したことは、言葉では尽くせぬほどの凄いことだと思います。

高校でも中学でもこうした本校生の全国レベルでの活躍は、本校の生徒や先生方全員が勇気をもら

う出来事です。みなさんと共にこれらの快挙を大いに喜びたいと思います。

1都3県に続き福岡県を含む7県が新たに対象地域とされた1月13日発令の「緊急事態宣言」を受けて、今日の朝礼時に放送で、私から直接みなさんに注意喚起を行いました。こうして私から放送で直接みなさんに注意喚起を行うのは、今日で4回目になりますが、今回はこれまでの3回の注意喚起の時とはその緊張感は全く異なります。この新型コロナウイルス禍は、昨年1月から始まりましたが、今回の「緊急事態宣言」における感染状況は、昨年1月以来最も深刻な状況であると言わざるを得ません！

福岡県でも連日300名を超える感染者を記録し、全国大会で優勝した福岡市内の私立高校の選手にクラスターが発生したり、福岡市内の公立学校でも新型コロナウイルス感染による休校や学級閉鎖も出ているようです。感染爆発（パンデミック）に近い状況は、首都圏や関西圏に限った問題ではなく、私たち福岡県にも差し迫っているという認識に立ち、危機感を持って感染予防に努めなければなりません！また、首都圏や関西圏では「医療崩壊」から「医療壊滅」の危機まで叫ばれています。福岡県においても、これも決して他人事ではありません！

本校においても、強い危機感を持って、これまでの感染防止の取組を更に徹底していきます。

具体的には、今日の本校ホームページに新型コロナウイルス感染防止等に係る留意事項の更新について（令和3年1月13日付・2教高第5272号・2教特第2122号・2教人第1443号・2教体第2755号）に基づき、保護者、生徒のみなさんへ「**緊急事態宣言（1月13日発令）に伴う本校の教育活動等について**」と題した文書を掲載し、改めて本校の新型コロナウイルス感染防止対策について、確認とお知らせをしていますので、保護者と一緒に必ず読んでください！

新型コロナウイルスの感染拡大は、このように極めて厳しい状況にあります。実は新型コロナウイルス禍が終息した後が、社会全体として本当の意味で厳しい局面を迎えるのかもしれない。

日本人の経済学者としてアメリカで高い評価を受けた理論経済学者の宇沢 弘文 氏は「社会的共通資本」という概念を提唱しました。「社会的共通資本」とは、一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々が、ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置のことで、宇沢氏は「社会的共通資本」の3つの要素とし

て、①自然環境（大気、森林、河川、土壌など）、②社会的インフラストラクチャー（道路、交通機関、上下水道、電力・ガスなど）、③制度資本（医療、教育、司法、金融など）を挙げています。わが国のような「先進国」では、市場制度が整備され、経済の規模が大きくその構造も複雑で「社会的共通資本」の役割の大きさを認識し、実感することが難しいですが（実はそれが市場経済の大事な土台を形成しているのですが）、中村 哲先生が活動されてきたアフガニスタンのような復興を必要とする国においては認識しやすいのかもしれませんが。そういう意味においては、中村 哲先生のアフガニスタン東部における活動は、現地の「社会的共通資本」を再構築する営みであったと言えるのではないのでしょうか。

「先進国」であっても「社会的共通資本」の重要性をはっきり認識できる局面があるとすれば、それは「危機」に見舞われた時、まさに今の新型コロナウイルス禍という「危機」の時なのかもしれません。

十分な「社会的共通資本」が供給されていなければ、人間が生活する社会は不安定化し、社会そのものが存続の危機にさらされることすらあると言われています。

フランスの経済学者・ジャック＝アタリ氏は、『危機』が示したのは、命を守る分野の経済的価値の高さである。健康、食品、衛星、デジタル、物流、クリーンエネルギー、教育、文化、研究などが該当する。これらを合計すると国内総生産（GDP）の5～6割を占めるが、『危機』を機に割合を高めるべきだ。経済の非常事態は長く続く。これらの分野を犠牲にした企業の救済策を創るべきではない。そして、企業もまたこれらと関係のある事業を探していかなければならない。（日本経済新聞・令和2年4月9日付インタビュー）と述べています。

この「社会的共通資本」という概念は、新型コロナウイルス禍を乗り越えた時、私たちにとって一つの指針になるかもしれないと思いました。

この厳しい感染拡大状況の中で、徹底して感染防止に努めることが、今求められる最重要課題ではありますが、それと同時に、コロナ後の私たちが進むべき道についても考えを深めたいものです。

いよいよ明日から、高校3年生は初めての「大学入学共通テスト」に臨みます。今日の3限目の激励会で、私から3年生のみなさんに伝えたいことはすべて伝えました。この10ヶ月3年生のみなさんを見てきて、みなさんなら、たとえ今、どんなに不安な気持ちであっても、明日と明後日は、間違いなく持てる力を存分に発揮し、思いっきり闘ってきてくれると確信しています！ 宗高・宗中のすべてのみなさんと共に、力の限り、力強いエールを送ります。

3年生のみなさん、明日明後日、明るく、元気にがんばってきてください！

校長 深瀬 信也